

# ストップ少子化（人口減少問題）・おおさき元気戦略プロジェクトへの提言を募集します

政策課政策企画担当 ☎2129 2427  
Eメール seisaku@city.osakimiyagi.jp

「2040年には日本の半数の自治体が消滅する可能性がある」という非常に衝撃的な内容が、元総務大臣の増田寛也氏が座長を務める日本創成会議人口減少問題検討分科会から発表されました。

このとき併せて発表された「消滅可能性自治体リスト」に、本市は含まれていませんが、このまま何もしなければ、人口は確実に減少することが推測されます。

20万都市構想を掲げる本市として、この人口減少問題に取り組みため、市役所の全庁的な取り組みとして「ストップ少子化・おおさき元気戦略プロジェクト」本部を立ち上げました。市議会においても「人口減少問

題対策調査特別委員会が設置されています。

市民皆さんから、少子化や人口減少に対する提言を募集します。提言は、国や県が行うような施策ではなく、一自治体で対応できる大崎市において実現可能な提案をお願いします。

募集期間 10月1日(水)～20日(月)

提言方法 任意の用紙に「氏名」「住所」「連絡先」を記入し、「人口が増えないのはなぜか」「その対応策は」といった内容を記入し、直接持参するか、Eメールまたはファクスで提出してください。

提出先 市民協働推進部政策課または各総合支所地域振興課

# 「ファミサポ」会員募集中！

子育てわくわくランド ☎3116(ファミサポ専用)

ファミサポは、子育ての手伝いをしてほしい人と手伝える人を結び会員登録制の事業です。

登録後、すぐに利用しなくても、事前に登録しておくことで、いざという時の心強い味方になります。

説明を聞きたい場合は、電話で予約してください。

【依頼会員】

子育てを手伝ってほしい人 市内在住か市内に勤務している人で、生後2カ月から小学6年生までの子どもを養育している人

【提供会員】

子育ての手伝いができる人 市内在住の20歳以上の人で、心身ともに健康であり、子どもに対し、家族同様に接することができる人。また、センターで1日講習会を受講できる人

# 天・地・人

## ササニシキ復権物語



大崎耕土が豊穡の秋を迎えました。すでに新米を堪能された方もおられるでしょう。

9月13日、アグリ大國大崎に、新たな復興支援の力強い助っ人「古川カントリーエレベーター」が誕生しました。

東日本大震災により、甚大な被害を受けた農業用作業場や乾燥機などの代替施設として、国の復興交付金事業を活用した多目的カントリーエレベーター(米穀の大型乾燥・調整・貯蔵施設が、この秋から稼働し、ササニシキの復権を目指すというミッションをも担います。

JR古川駅前広場に大きな看板塔と顕彰碑が建っているとおり、大崎はササニシキ誕生の地です。

かつては「ササ・コシ戦」と騒がれ、「東の横綱」と称されたトップブランドでしたが、冷害に弱い、作りにくいと栽培農家から敬遠さ

れ、今では、幻のお米とまで言われるようになってしまいました。

しかし、炊きあがりの香りの良さとおっさりした食感、寿司飯や和食、おむすびに最適と、料理人や和食ファンからの熱望が絶えず、これに答え誕生したのが、ササニシキの良さを保ちつつも弱点を克服した「東北194号」です。

市では、今年春、公募により、このお米に「ささ結」と名付けました。現在、試験栽培が行われており、来年から本格的に一般作付が始まります。

昨年の暮れに日本の和食が、ユネスコ無形文化遺産に登録され、今まさに世界が日本の食文化を注目しています。

新しいカントリーエレベーターを拠点に、和食の主役であるお米、その横綱ササニシキを復権する好機です。

大崎市長 伊藤康志

# 保育所(園)・子育て支援総合施設の入所児童を募集します

子育て支援課保育所係 ☎6045

平成27年度4月の保育所(園)・子育て支援総合施設(保育所部門・幼稚園部門)の入所児童を募集します。

対象 市内在住の未就学児  
保育所・総合施設保育所部門 親の就労や病気などの理由で、家庭で保育が受けられない市内在住の乳幼児

総合施設幼稚園部門 利用を希望する市内在住の3～5歳の幼児

受付・問合せ 保育所は、子育て支援課保育所係、各総合支所市民福祉課(三本木・田尻を除く)で、子育て支援総合施設はその施設で受け付け。郵送での申し込みも可  
受付期間 11月4日(火)～21日(金) 8時30分～17時15分(市役所閉庁日を除く)  
入所案内書 各施設で10月22日(水)から配布。  
※市ウェブサイトからのダウンロードもできます。

※11月25日以降も随時受け付けますが、希望する時期に入所できない場合があります。

※4月1日から入所を希望する場合、出産予定の児童(出産予定日が平成27年2月1日までの人も)も受け付けます。

保育料月額(参考)

保育所・総合施設保育所部門 3歳児未満・7千円～5万円  
3歳児以上・5千円～4万円  
※兄弟が入所している、母子世帯であるなどの理由で、保育料が減免される場合があります。  
幼稚園部門 5千円  
(入園料3千円)  
鬼首保育所 5千円  
広域入所 市外の保育施設に入所を希望する場合、子育て支援課に相談してください。

# 市立幼稚園の園児を募集します

学校教育課学事担当 ☎5033  
または各幼稚園(下表参照)

平成27年度4月に入園する幼児を募集します。

対象 市内在住の4・5歳児(川渡・田尻・大貫の各幼稚園は3歳児から)

受付 11月4日(火)～14日(金) 8時30分～16時30分まで、各幼稚園で受け付け。入園案内書は、10月1日(水)から各幼稚園で配布

費用 入園料3千円、保育料1カ月5千円、園徴収金1カ月2千500円程度、制服・教材代などとして、入園時に1万5千円程度  
保育時間 月～金曜日8時

施設名	電話
にじの子幼稚園	26-2325
ゆめのさと幼稚園	28-1606
長岡幼稚園	28-2301
富永幼稚園	28-2183
敷玉幼稚園	23-5707
松山幼稚園	55-2562
鹿島台第一幼稚園	56-2660
川渡幼稚園	84-7243
田尻幼稚園	39-1135
大貫幼稚園	39-0320

※公立幼稚園には保育料の減免、私立幼稚園には就園奨励費補助金の制度があります。